

次世代医師対象講座
NEXUS
スライド作成の極意
ースライドで陥りやすい表現方法からの脱却ー

STUDIO BIUM®

4687-IP-3402302-1.0-04/2024

スライドデザイン

スライド制作

内容 > デザイン

スライド制作

内容 デザイン

スライド制作

基本編

応用編

パワボに触る前に

初期設定

四角で構成する

余 白

パワボに触る前に

1. ストーリー、セリフ
2. 下書き
3. キースライド

パワボに触る前に

・ 図象書きで構成をまとめる！
・ レイアウトのラフ画をつくる
・ パワボ触る前に考えきる！

初期設定

四角で構成する

余 白

初期設定

スライドのサイズ

スライドテーマ

フォント

行間

コンセプトカラー

ガイド線

スライドのサイズ

3 : 4

9 : 16

スライドテーマ

フォント

じびいんこうか
頭頸部外科
Otorhinolaryngology
Head and Neck Surgery

フォント

かっちり

柔らかい

じびいんこうか
頭頸部外科
Otorhinolaryngology
Head and Neck Surgery

じびいんこうか
頭頸部外科
Otorhinolaryngology
Head and Neck Surgery

フォント

かっちり

柔らかい

游ゴシック
Arial

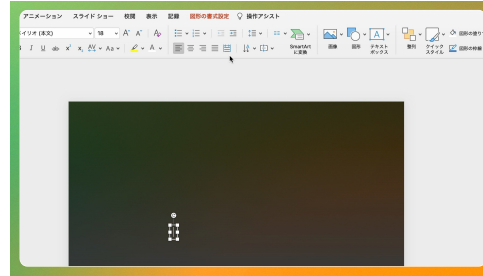
メイリオ
Segoe UI

行間

アレルギー性鼻炎とは、
本来異物を体内に入れないための
防御機構である、くしゃみ、鼻みず、鼻づまりが
病的、かつ過剰に起こる病気です。

行間

アレルギー性鼻炎とは、
本来異物を体内に入れないための
防御機構である、くしゃみ、鼻みず、鼻づまりが
病的、かつ過剰に起こる病気です。

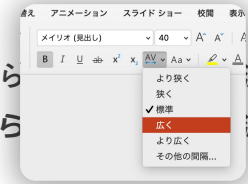


行間

こちら葛飾区亀有公園前派出所
こちら葛飾区亀有公園前派出所

行間

こちら葛飾区亀有公園前派出所
こちら葛飾区亀有公園前派出所



行間

こちら葛飾区亀有公園前派出所
こちら葛飾区亀有公園前派出所



コンセプトカラー

コンセプトカラー



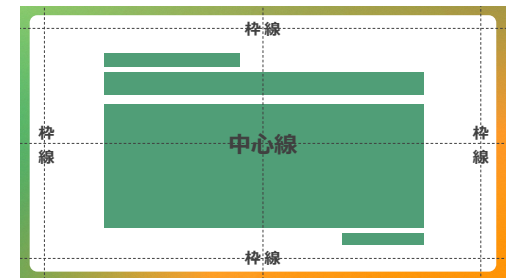
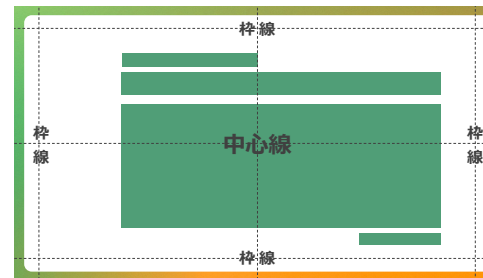
透明度を変えて使用

コンセプトカラー

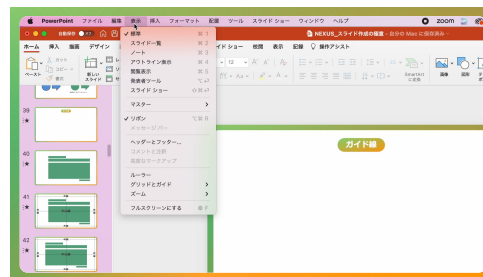


透明度を変えて使用

ガイド線



ガイド線



パワポを触る前に

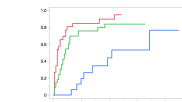
初期設定

四角で構成する

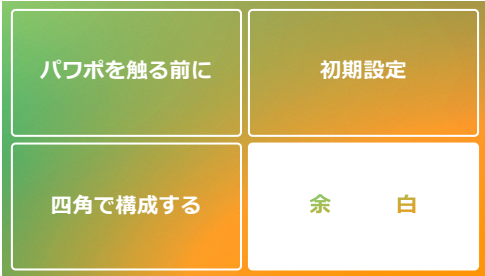
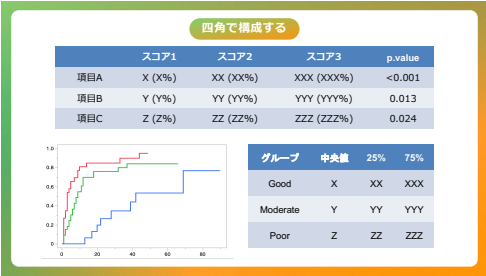
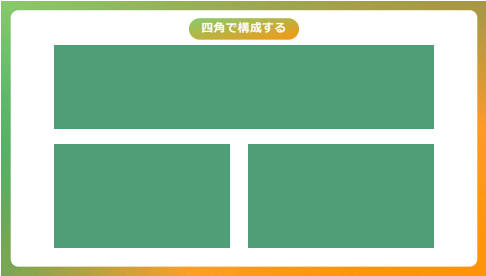
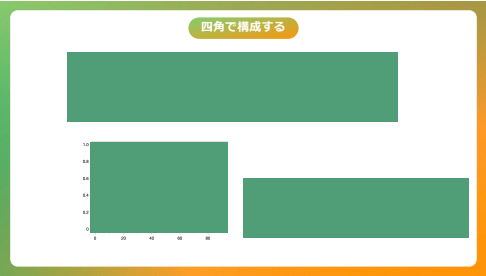
余 白

四角で構成する

	スコア1	スコア2	スコア3	p.value
項目A	X (X%)	XX (XX%)	XXX (XXX%)	<0.001
項目B	Y (Y%)	YY (YY%)	YYY (YYY%)	0.013
項目C	Z (Z%)	ZZ (ZZ%)	ZZZ (ZZZ%)	0.024



グループ	中央値	25%	75%
Good	X	XX	XXX
Moderate	Y	YY	YYY
Poor	Z	ZZ	ZZZ



頭頸部再建手術後の音声障害の経過と関連する因子の検討

山田太郎¹、佐藤花子^{1,2}、鈴木一郎^{1,2}、田中真紀^{1,2}、高橋恵子^{1,2}、伊藤光^{1,3}、渡辺修^{1,4}、中村純一¹、小林愛^{1,2}、加藤健^{1,2}

- 1) 浪速大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 2) 浪速大学医学部附属病院 形成外科
- 3) 浪速大学医学部附属病院 歯科治療室
- 4) 大阪大学医学部附属病院 リハビリテーション部



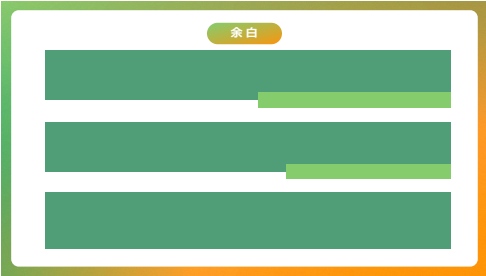
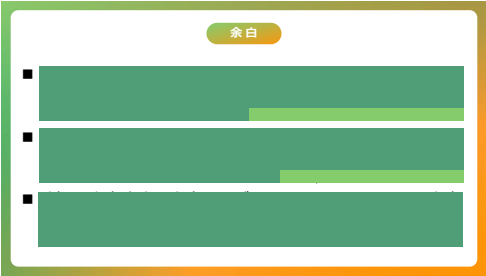
頭頸部再建手術後の音声障害の経過と関連する因子の検討

山田太郎¹、佐藤花子^{1,2}、鈴木一郎^{1,2}、田中真紀^{1,2}、高橋恵子^{1,2}、伊藤光^{1,3}、渡辺修^{1,4}、中村純一¹、小林愛^{1,2}、加藤健^{1,2}

- 1) 浪速大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 2) 浪速大学医学部附属病院 形成外科
- 3) 浪速大学医学部附属病院 歯科治療室
- 4) 大阪大学医学部附属病院 リハビリテーション部

余 白

- 頸部再建手術を受けた患者において、音声障害を経験することは多く、コミュニケーションの障害や社会的な孤立につながる可能性がある。
Yamada, et al. J Thorac XXXXXXXX 2023
- また、頸部再建手術後の音声障害は発声機能の低下や心理的ストレスを引き起こし、これらは患者のQOLの悪化にもつながりうる。
Tanaka, et al. Eur J YYYYYYYY 2023
- 適切な音声治療や音声リハビリテーションのために、音声回復に要する時間や障害因子を明確にすることは重要であり、様々な研究が進められている。

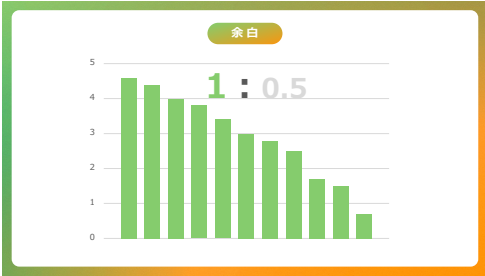
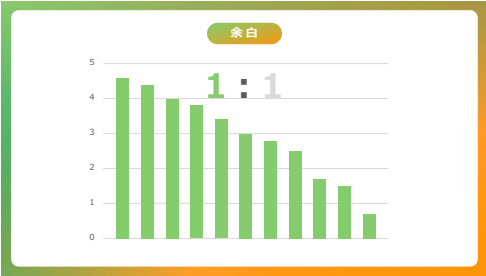
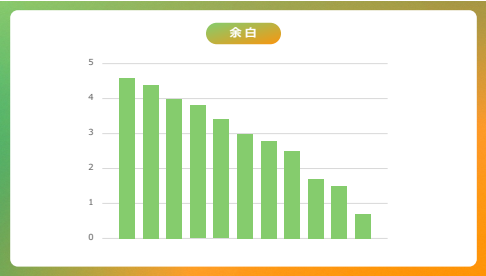


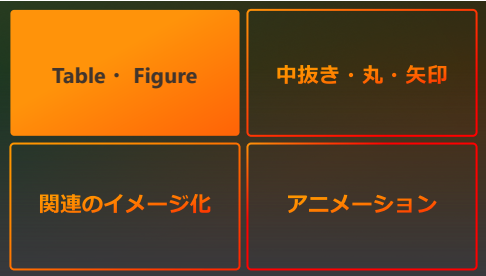
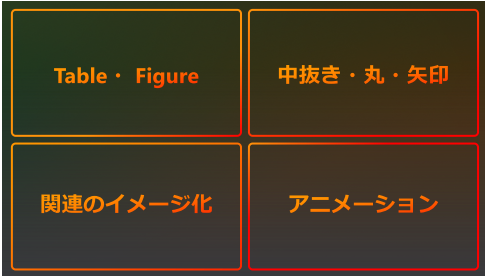
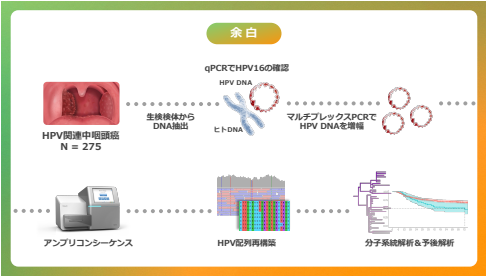
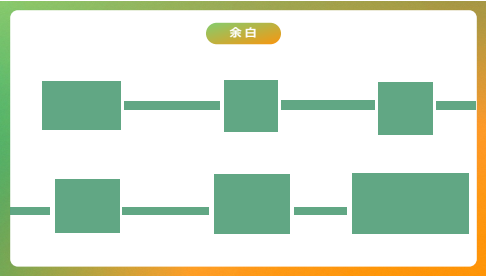
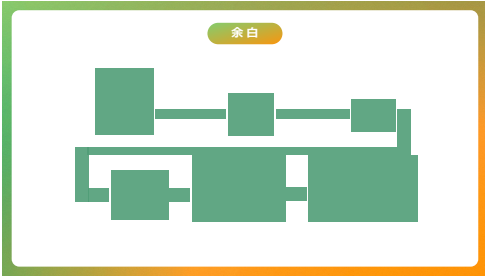
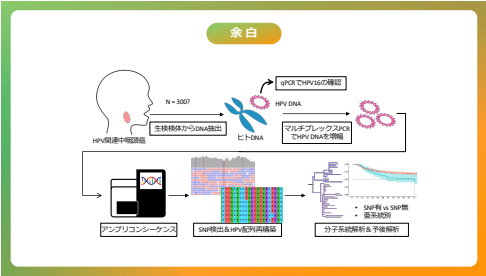
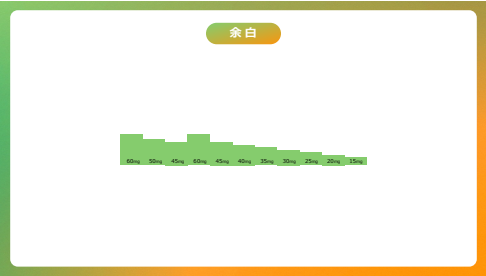
余 白

頸部再建手術を受けた患者において、音声障害は頻発であり、コミュニケーションの障害や社会的な孤立につながる可能性がある。
Yamada, et al. J Thorac XXXXXXXX 2023

頸部再建手術後の音声障害は発声機能の低下や心理的ストレスを引き起こし、患者のQOLの悪化にもつながりうる。
Tanaka, et al. Eur J YYYYYYYY 2023

適切な音声治療や音声リハビリテーションのために、音声回復に要する時間や障害因子を解明することが重要であり、様々な研究が進められている。





Table

因子	HPV感染患者数/総数	咽頭感染率(%) (95% CI)	オッズ比 (95% CI)	P値
性別				
男性	20/242	8.3 (5.4-12.4)	Reference	
女性	5/193	2.6 (0.8-5.9)	0.2 (0.1-0.6)	0.03
0-5	7/251	2.8 (1.1-5.7)	Reference	
生涯性パートナー数				
6-20	8/142	5.6 (2.5-10.8)	2.1 (0.7-5.9)	<0.01*
≥21	10/42	23.8 (12.1-39.5)	10.7 (3.6-33.4)	
直近1年間性パートナー数				
0	1/80	1.3 (0.03-6.7)	Reference	
1	15/249	6.0 (3.4-9.7)	5.1 (0.8-106)	0.04*
≥2	9/106	8.5 (4.0-15.5)	7.3 (1.1-160)	

Table

因子	HPV感染患者数/総数	咽頭感染率(%) (95% CI)	オッズ比 (95% CI)	P値
性別				
男性	20/242	8.3 (5.4-12.4)	Reference	
女性	5/193	2.6 (0.8-5.9)	0.2 (0.1-0.6)	0.03
0-5	7/251	2.8 (1.1-5.7)	Reference	
6-20	8/142	5.6 (2.5-10.8)	2.1 (0.7-5.9)	<0.01*
≥21	10/42	23.8 (12.1-39.5)	10.7 (3.6-33.4)	
直近1年間性パートナー数				
0	1/80	1.3 (0.03-6.7)	Reference	
1	15/249	6.0 (3.4-9.7)	5.1 (0.8-106)	0.04*
≥2	9/106	8.5 (4.0-15.5)	7.3 (1.1-160)	

Table

因子	HPV感染患者数/総数	咽頭感染率(%) (95% CI)	オッズ比 (95% CI)	P値
性別				
男性	20/242	8.3 (5.4-12.4)	Reference	
女性	5/193	2.6 (0.8-5.9)	0.2 (0.1-0.6)	0.03
0-5	7/251	2.8 (1.1-5.7)	Reference	
生涯性パートナー数				
6-20	8/142	5.6 (2.5-10.8)	2.1 (0.7-5.9)	<0.01*
≥21	10/42	23.8 (12.1-39.5)	10.7 (3.6-33.4)	
直近1年間性パートナー数				
0	1/80	1.3 (0.03-6.7)	Reference	
1	15/249	6.0 (3.4-9.7)	5.1 (0.8-106)	0.04*
≥2	9/106	8.5 (4.0-15.5)	7.3 (1.1-160)	

Table

因子	HPV感染患者数/総数	咽頭感染率(%) (95% CI)	オッズ比 (95% CI)	P値
性別				
男性	20/242	8.3 (5.4-12.4)	Reference	
女性	5/193	2.6 (0.8-5.9)	0.2 (0.1-0.6)	0.03
0-5	7/251	2.8 (1.1-5.7)	Reference	
生涯性パートナー数				
6-20	8/142	5.6 (2.5-10.8)	2.1 (0.7-5.9)	<0.01*
≥21	10/42	23.8 (12.1-39.5)	10.7 (3.6-33.4)	
直近1年間性パートナー数				
0	1/80	1.3 (0.03-6.7)	Reference	
1	15/249	6.0 (3.4-9.7)	5.1 (0.8-106)	0.04*
≥2	9/106	8.5 (4.0-15.5)	7.3 (1.1-160)	

Table

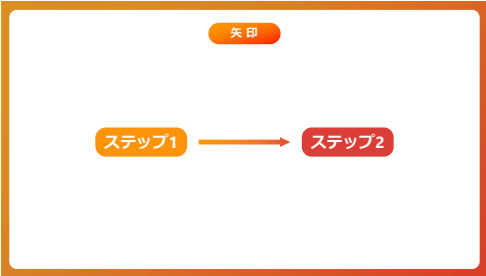
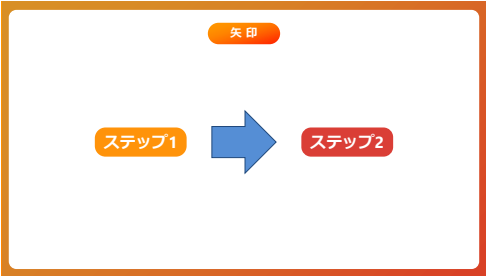
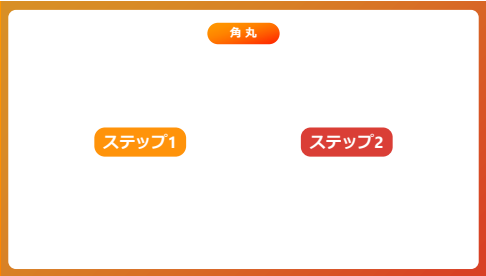
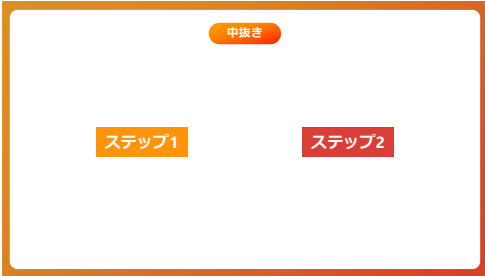
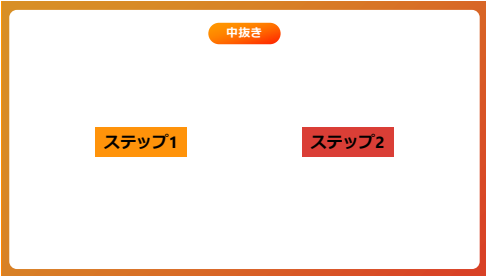
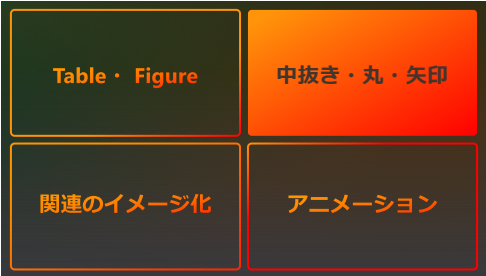
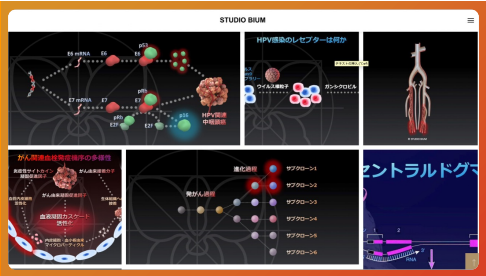
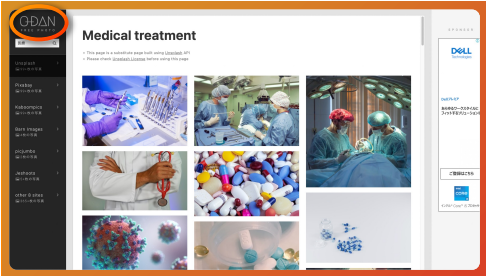
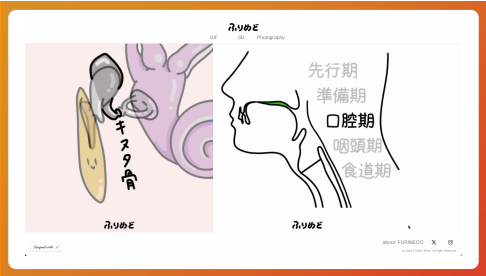
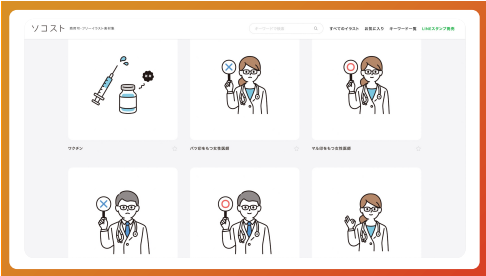
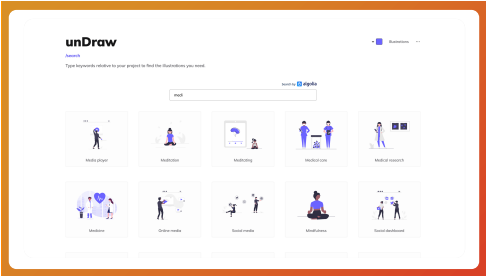
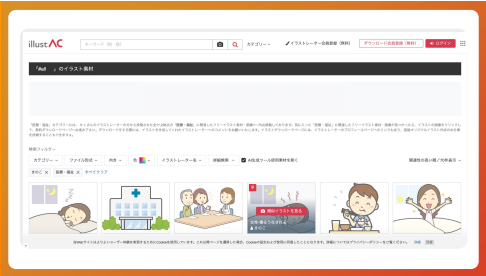
因子	HPV感染患者数/総数	咽頭感染率(%) (95% CI)	オッズ比 (95% CI)	P値
性別				
男性	20/242	8.3 (5.4-12.4)	Reference	
女性	5/193	2.6 (0.8-5.9)	0.2 (0.1-0.6)	0.03
0-5	7/251	2.8 (1.1-5.7)	Reference	
生涯性パートナー数				
6-20	8/142	5.6 (2.5-10.8)	2.1 (0.7-5.9)	<0.01*
≥21	10/42	23.8 (12.1-39.5)	10.7 (3.6-33.4)	
直近1年間性パートナー数				
0	1/80	1.3 (0.03-6.7)	Reference	
1	15/249	6.0 (3.4-9.7)	5.1 (0.8-106)	0.04*
≥2	9/106	8.5 (4.0-15.5)	7.3 (1.1-160)	

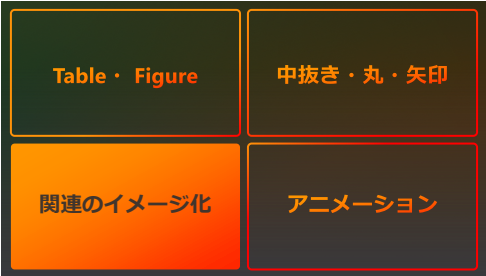
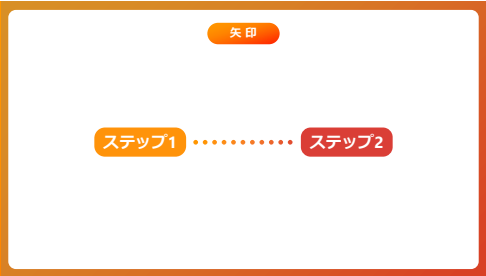
Table

因子	HPV感染患者数/総数	咽頭感染率(%) (95% CI)	オッズ比 (95% CI)	P値
性別				
男性	20/242	8.3 (5.4-12.4)	Reference	
女性	5/193	2.6 (0.8-5.9)	0.2 (0.1-0.6)	0.03
0-5	7/251	2.8 (1.1-5.7)	Reference	
生涯性パートナー数				
6-20	8/142	5.6 (2.5-10.8)	2.1 (0.7-5.9)	<0.01*
≥21	10/42	23.8 (12.1-39.5)	10.7 (3.6-33.4)	
直近1年間性パートナー数				
0	1/80	1.3 (0.03-6.7)	Reference	
1	15/249	6.0 (3.4-9.7)	5.1 (0.8-106)	0.04*
≥2	9/106	8.5 (4.0-15.5)	7.3 (1.1-160)	

Table

因子	HPV感染患者数/総数	咽頭感染率(%) (95% CI)	オッズ比 (95% CI)	P値
性別				
男性	20/242	8.3 (5.4-12.4)	Reference	
女性	5/193	2.6 (0.8-5.9)	0.2 (0.1-0.6)	0.03
0-5	7/251	2.8 (1.1-5.7)	Reference	
生涯性パートナー数				
6-20	8/142	5.6 (2.5-10.8)	2.1 (0.7-5.9)	<0.01*
≥21	10/42	23.8 (12.1-39.5)	10.7 (3.6-33.4)	
直近1年間性パートナー数				
0	1/80	1.3 (0.03-6.7)	Reference	
1	15/249	6.0 (3.4-9.7)	5.1 (0.8-106)	0.04*
≥2	9/106	8.5 (4.0-15.5)	7.3 (1.1-160)	

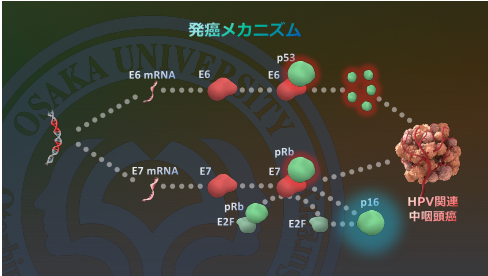
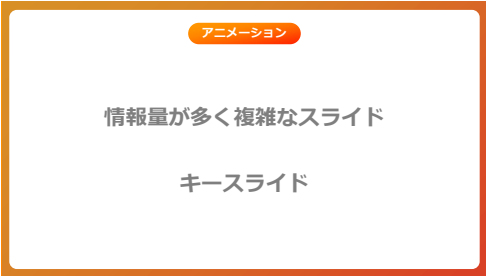
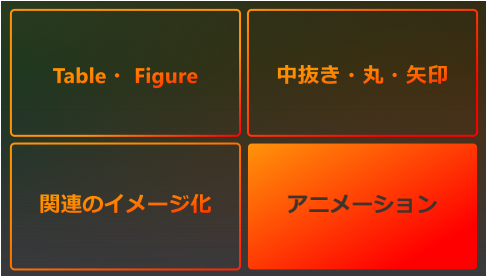
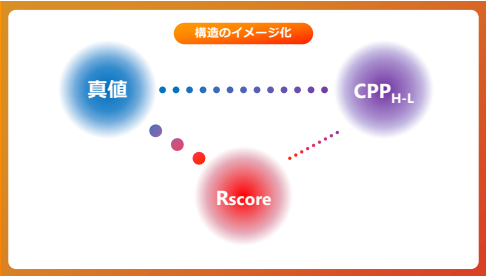
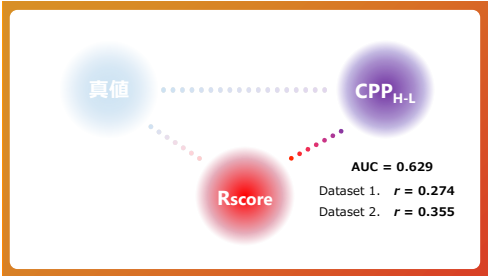
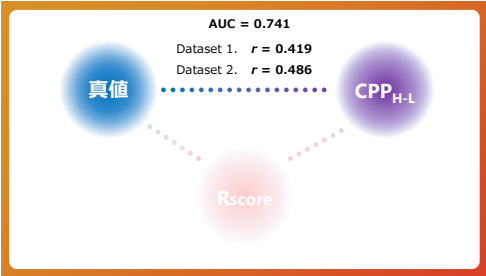
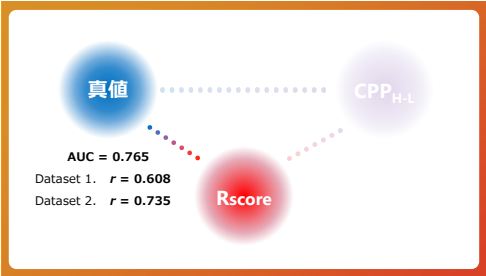
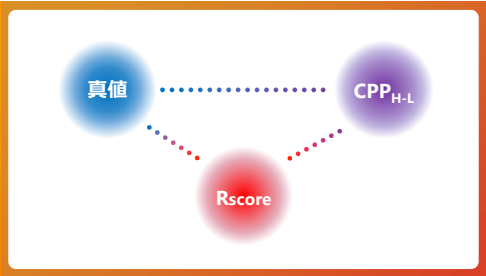


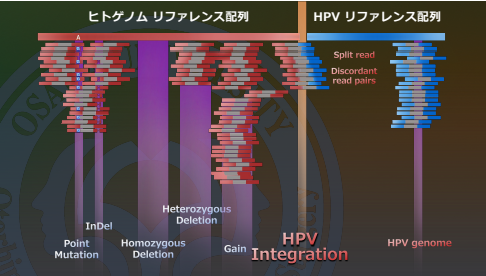


	AUC	Sensitivity / Specificity	Cutoff value
真値 と R score	0.757	0.616 / 0.879	3.830
Dataset-1 (N = 455)	0.608		0.735

	AUC	Sensitivity / Specificity	Cutoff value
真値 と CPPH-L	0.741	0.603 / 0.826	2.206
Dataset-1 (N = 455)	-0.419		-0.486

	AUC	Sensitivity / Specificity	Cutoff value
CPPH-L と R score	0.629	0.370 / 0.933	1.044
Dataset-1 (N = 455)	-0.274		-0.355





アニメーション

フェード ワイプ 変形

アニメーション

n 番目

n+1 番目

アニメーション

n 番目

アニメーションの軌跡

